

科目名	メディアコンテンツ特論		英文表記	Advanced Course on Media Contents		作成・修正日	
科目コード	6305						
教員名: 小西 潤子 技術職員名: なし						作成	
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
創造システム工学専攻・情報工学コース	専1	選	学修	2単位	講義	後期	
科目目標 【MCC目標】	<p>科目全体の目標</p> <p>(1)メディアコンテンツと芸術との関係について、理解を深める。  (2)メディアコンテンツと風景論との関係について、理解を深める。  (3)メディアコンテンツと地域社会との関係について、理解を深める。  (4)テーマを選択して作品制作を行い、発表と討論を行う。</p> <p>【IV-B-2】情報技術の進展が社会に及ぼす影響、及び個人情報保護法、著作権などの法律との関連について理解できる。  【V-D-8】メディア情報の主要な表現形式や処理技法について説明できる。  【VII-B】各種の発想法、計画立案手法を用い、より効率的、合理的にプロジェクトを進めることができる。</p>						
総合評価	(1)授業内課題(30%) (2)作品(40%) (3)発表における質疑応答(10%) (4)レポート(20%) により評価し、60%以上の達成を合格とする。Alt+Enterで改行						
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック			セルフチェック
	15%	① 芸術との関連性から、メディアコンテンツに対する理解を深める。	授業内課題、レポートによって評価する。	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	
	15%	② メディアコンテンツと風景論との関係について、理解を深める。	授業内課題、レポートによって評価する。	風景のとらえ方とその変化について理解をし、メディアコンテンツと価値観について自分の意見を論じることができる。	風景のとらえ方とその変化について理解をし、メディアコンテンツと価値観について説明できる。	風景のとらえ方とその変化について知り、メディアコンテンツと価値観について理解する。	
	15%	③ メディアコンテンツと地域社会との関係について、理解を深める。	授業内課題、レポートによって評価する。	地域社会とその変化について理解をし、メディアコンテンツとライフスタイルについて自分の意見を論じることができる。	地域社会とその変化について理解をし、メディアコンテンツとライフスタイルについて説明できる。	地域社会とその変化について知り、メディアコンテンツとライフスタイルについて理解する。	
	55%	④ テーマを選択して作品制作を行い、発表と討論を行う。	作品、質疑応答、レポートによって評価する。	テーマに対して、適切なメディアや表現方法を用いた作品を制作し、独自の議論を展開することができる。	テーマに対して、適切なメディアや表現方法を用いた作品を制作し、参加者の議論を促すことができる。	テーマに対して、適切なメディアや表現方法を用いた作品を制作し、説明することができる。	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	<専攻科教育目標> (3)専門知識を基にした応用力を持ち、自ら成長できる人材を育成する		
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	30	20	50	100	
基礎的理解	①②③		30	15		45	
応用力(実践・専門・融合)	④				40	40	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	④				10	10	
主体的・継続的学修意欲	①②③			5		5	
授業概要、方針、履修上の注意	<p>【授業概要】メディアコンテンツを芸術、風景論、地域社会といった切り口との関係からとらえなおすことによって、メディアコンテンツを特定の媒体に特化したデータとしてではなく、文化や社会との関係性において生じる意味や価値の世界であることを理解し、その成果を実践的に示す。</p> <p>【授業方針】担当教員による学説や事例の紹介とともに、受講生自身が主体的に自分の考えや感性を形成していけるように、ゼミナール、ワークショップなど参加型の授業形式を導入する。ゼミ形式の討論では、担当学生によるプレゼンテーションをもとに、出席者全員が討論を行う形式をとる。</p> <p>【履修上の注意】主体的な取り組みを心掛けて欲しい。</p>						
教科書・教材	事前に購入しなければならない教科書はない。						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	ガイダンス	2	授業概要、評価方法について説明する。		
2	工芸とデザイン	2	関連する学説および事例の紹介をする。	事例調査	
3	音と音楽	2	関連する学説および事例の紹介をする。	事例調査	
4	風景とデザイン①	2	関連する学説および事例の紹介をする。	事例調査	
5	風景とデザイン②	2	関連する学説および事例の紹介をする。	事例調査	
6	風景とデザイン③	2	関連する学説および事例の紹介をする。	事例調査	
7	地域社会とメディアコンテンツ①	2	関連する学説および事例の紹介をする。	事例調査	
8	地域社会とメディアコンテンツ②	2	関連する学説および事例の紹介をする。	事例調査	
9	地域社会とメディアコンテンツ③	2	関連する学説および事例の紹介をする。	事例調査	
10	企画制作論	2	関連する学説および事例の紹介をする。	事例調査	
11	企画制作実践①	2	企画と発表の準備を行う。	授業内で終わらなかった作業をする。	
12	企画制作実践①	2	企画と発表の準備を行う。		
13	企画制作実践①	2	企画と発表の準備を行う。		
14	企画制作発表	2	企画の発表を行う。		
15	総括	2	全体のまとめを行う。		
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	講義で学んだことを復習し、自分の考えをまとめたレポートを提出する。			2時間×10回	
②	企画制作と発表準備			2時間×3回	
<b>備考欄</b>					
(各科目個別記述) ・この科目の主たる関連科目はメディアコンテンツ基礎(1年)、メディア情報工学実験I(2年)、メディアコンテンツ応用(5年)である。 (学位審査基準の要件による分類・適用) 科目区分 関連科目 工学及び周辺技術等に関する科目					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)